

淨寫

校合

川本簿
管録

發付

長官

次官

局長

参査

主査

属僚

八月廿日

別紙森公使報告宛禁券購之願末之義法高免狀
右ハ至郵局計兩局、法印付可相成哉相同也

案第 一三六号

宛禁券購求願末之付別紙寫之通森公使

可報告有之禁券為法印及法印付也

十五年九月

内局長代理

主郵局長 充

會計局副長

二百六十六

連名

海軍省

0515

以此等報時來艱重報告

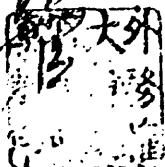
其並重為所了者不若口湖 宛據和信之通
及以轉送於此處之子亦來信也

儀付

明治十二年 八月廿九日

外務省長官

外務省長官



海軍省記官

中

購券二二六六

外務省

0516

今般購ボクノ新艦ニ我國旗ヲ揚クヘ
 キヲラ付本年一月廿五日付貴翰并
 改洲派先法又海軍少匠曰ヘ付ラセラ
 シタル訓令寫ヲ添ムル日付貴翰及
 英國人ゼーリス遣欧ノ義ヲ付二月五
 日付貴翰ハ台ラ三通疾・領事致シハ
 其後外務省ノ経テ法寫越相成
 ル後十曲ノ電信向レモ収キ又本使ヨリ
 發シタル電報モ亦皆張ノ接受ノイト
 信シハ叔キイル之軍艦二隻又購取之
 約ヲ破棄シ更ニアームストロング社ニ製
 造シタル軍艦アルテユロプラット號ヲ買

二百六十八

0517

一之ヲ筑紫船ト名ケ該船ニ附屬スヘ
 キハ漢船并電氣燈ヲモ購取シタル等
 ノ顛末ハ時々亦使ヨリ復送ノ電信ハ
 法及少區ヨリノ報告ニ依リ既ニ張
 詳知アルハキイトハ老ハ茲ニ復言ヲ要
 セヌ昔前記三回ノ貴翰ニ對シ田舎ス
 ルノ如ク
 一筑紫船ハ本月十一日ニウカツスル港ヲ
 解纜シタリ
 一四船ニハゼリハス船長トレテ搭載セリ
 一訪来意ノ通リ我國旗ヲ掲クヘキ
 一ヨ回船長ニ申奉セリ
 一筑紫船ニ屬スル繪圖并目錄等ハ法及

少匠曰、交付レヨ及ゼーロス其書曰、
 照シ受取方ヲ擔任セリ
 一本邦マラ航海、必要ノ器具作ル炭食
 物等一切買入ノ執ハ佐双少匠曰ゼーロス
 西名ヨリ申出ノ通リ承諾シ其代金ヲ
 佐双ニ交付シタリ
 一軍船亦大砲及諸機関等保險ノ一亦
 海條ノ通取計ヒ其保險證書ハ當館
 視リ可也
 一横須賀造船所於テ鉄船製造傳習
 ノ為メ英國製鉄職工三名雇入ノ件ハ
 佐双少匠曰ヨリ申出、依リ約定書、本
 使記名セリ但該約定書一通ハ當館ニ

二百六十九
 一五五
 一六六
 一六七
 一六八
 一六九
 一七〇
 一七一
 一七二
 一七三
 一七四
 一七五
 一七六
 一七七
 一七八
 一七九
 一八〇
 一八一
 一八二
 一八三
 一八四
 一八五
 一八六
 一八七
 一八八
 一八九
 一九〇
 一九一
 一九二
 一九三
 一九四
 一九五
 一九六
 一九七
 一九八
 一九九
 二〇〇

0519

領りて其寫ヲ依双ニ交付セリ
 右職工二名ハ汽船乗組タル由
 一曩ニ汽電艇ノ通リ英貨十萬石ノ碇
 ノ内ヨリ右軍艦代ヲ仕拂ヒ其残金
 ニテハ汽艇電氣燈代ノ滿付器具石
 炭食料等一切ホキルル軍艦航海試験
 諸費且職工二名雇入ニ係ル費用ヲモ
 支拂ヒ其残金ヲ領事館ニ備置シテ
 其寫書ヲ郵送スヘシ
 右件ノ由ヨリ旁申進儀也
 明治十六年七月十三日

特命全權公使

小島中経

海軍
郷川村純義殿

二百七十

陸奥國日本外史官

0521

清寫

檢合

目録
録

發付

長官 (親裁)

次官 (親裁)

局長 (親裁)

参查 為

土着 (村上)

属際

七月二十日

筑紫船場英國出帆之報、森公使より電報
有之、法廷に在りて政府、法廷に在りて法廷
案件等取柄、沖高裁決也

法廷案件

購券一三三セリ

筑紫船場英國出帆之報、法廷

今般法購入相成、法廷在英、五二ウカツル軍艦
筑紫船場、本年自十一日、同地出帆、森公使在
莫森公使より電報、越決案件、法廷

二百七十一

録

録

録

0523

仕致也

十三年七月廿七日海軍卿

左大臣臣亮

財部卿 陸軍卿 海軍卿

今般定之國と於予贈入相殿於軍艦筑此奉号

○三月本月十日同國出帆被旨本林公使電

報有之並条此段及海軍道附送也

十三年七月廿七日 内閣卿

軍務局長 主船局長 會計局長

医務局長 兵器局長 水雷局長

鎮守府長官 中艦隊長 兵學校長

親長

0524

淨寫

校合

竹名簿

録付

長官

次官

局長

参事

庶務

七月十日

別紙森公使電報者十日筑紫船出帆
之義洪電覽也

譯

海軍卿へ

即上

筑紫船出帆者昨日三ツカツルシ出帆シタリ

今ハ石ノ子三ツ年七月十日

本紙

東系外務省

井上

二百七十三

海

軍

文

0525

海軍省

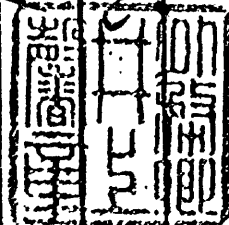
0526

電親展第九七號

何事此系禮ニウカスルヲお教ニ付
古一筆を本母の供よりお成し通し電
指者との言右アタシと申す也

昭和十六年七月十四日おるおの井と聲

海軍省河野武蔵殿



御
一三〇
カ
キ

二百七十三

ト
各

小
育

0527

Copy

Imoye

Gaimusho, Tokio.

To Hon. Mr. -

"Yukushi" left Newcastle
yesterday.

Mori

July 12th 1888

三百七十四

省

0529

淨寫

校合

門名簿
管録

發付

長官

次官 

局長 

主査

村上

属僚

参査

山崎

九月十一日

別紙外務省田村公使来状
陸軍省馬場
邊島着到
陸軍省電覽

二百七十五

海軍省

0530

航業船本月十一日ニウカツスル解纜
海航海部令能一昨廿五日馬尔達島
下ヲ駛行ノ船回船長ゼーハス氏ヨリ電
報アリ之ヨリキ候為申心得申達スル也
明治十六年七月廿七日

特命全權公使
牛島滿

海軍卿 川村純義殿

購号外

二百七十六

正安閣

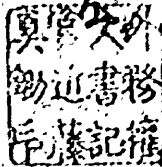
0531

龍溪公館 烏尔達 急可 擬ハ 龍溪ノ 儀ニ付
其美毒之工 月ハ 龍溪ノ 儀ニ付 龍溪ノ 儀ニ付
及以轉ハ 送ハ 龍溪ノ 儀ニ付 龍溪ノ 儀ニ付 一通

明治十六年九月八日

龍溪公館

龍溪公館 龍溪公館 龍溪公館



龍溪公館 龍溪公館

龍溪公館

龍溪公館

外務省

0533

清線

校合

川若薄
登封

發付

長
平

次官

局長

上書

属際

参會

（印）

八月八日

命依り左專取調仰高裁候也

藩
其
三
三
三

先般是國と購入之軍艦は現に東京去月十日

同船一舟は大阪に回航可相成之付香港に到

着は事ハ直接ニ高川灣へ回航可致有候艦

長江前達スル様同法艦領事事ハ電信ヲ以

て上海相成度此及上海長租界也

明治二十八年八月八日 海軍 女

二百七十八

海

軍

女

0534

Imperial Government Telegraphs.

D

Station *Makino* Date *3/8* 18*83*

1883 Date *30/8* 1883 9th 30th A. M.

Kawamura
Raigen Kiyo
Tokio
Sail on Sunday

電
報

0537

0538

三番十

明治

Enroute

D

Kabane

Date 31/8 1883

1883 9H 85M A.M.

mura
aigun Kiyo.
Tokio
on Sunday

0537

0538

淨寫

校令

台 録

發日

長官

次官

局長

参査

九月五日

主査

属僚

別寄電報状電報状在りて出人名無し其
其電報状字號セリトスヨリ電報状モトク
位者日三ノ日登同人電信ニ係リ其ニ
カホシル出費ノ管ニ係ルハ昨復古時
近ハ其ノ旨ヲ知ルルガ如ク其旨申上

通牒

第一三二

例文

一九一九年九月五日

二百八十一

海軍省

0539

Delivery Form

C.O.

Imperial Government Telegraphs.

D

Station Akabané Date 2/9 1888

No nil

Given in at

Singapore

Date 83

2/9

1883

9H

10M

AM

Kawamura Kaigun Kiyo
Kaigun Sho Tokio.

Sail Six tonight Direct

今夜六時發シ直ニ歸航ス
九月四日午前五時五分新嘉坡發

110711

東京府

death,

D

Kabane's Date 2/9 1882

1873 9H 15M 4M

Kaigun Kiyo
Sho Tokio.

Receipt

0540

0541

淨寫



原合



台 附

發付

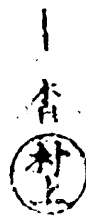
長鹿子

次官

局長



参查



属僚

九月廿四日

参查

別紙電報及び到着の旨を左に互譯し傳電
覽見換

譯 早外

直に横濱に帰航スルニ在炭不足ノ懸念アリ
ハ只今石炭積入レ今夕(即チ本)出航ス力事
都合宜シケレハ第ル水曜日(即チ)十一時ハ到着
ス可シ皆ナ無事ナリ

九月十五日午後二時五十分長崎発

二百八十三

海

頁

百

0543

海軍省

七〇一〇五

川村海軍卿閣下

駐船局 通牒 併送通 号外

例文 七〇一〇五

造船部 通牒 号外

（明照）横濱到着し都念三日午後九時
之機案法心得等二枚及限通牒移付

十二年九月十六日 内局長

造船部部長 亮

外務省 通牒

三〇一〇五

AKP-2

Delivery Form

Imperial Government Telegraphs

D

w. 30

Station Meubane Date 15/9/1873

No. 63

Given in at Nagasaki Date 15/9/1873 H/2 M45 1/3

From James To Admiral Kawamura
minister of marine
Tokio

Doubtful of coal lasting to
yokohama direct now coaling sail
this evening if all goes well will
arrive wednesday eleven o'clock
all well

0544

0545

